

平成 24 年度 岐阜工業高等専門学校シラバス			
教科目名	エネルギー工学	担当教員	天野智之(非常勤)
学年学科	5年 環境都市工学科	後期	選択 1単位(学修)
学習・教育目標	(D-3 エネルギー系)100% JABEE 基準1(1):(d)		
<b>授業の目標と期待される効果：</b> 世界の人口急増を背景にして、経済成長のためにはエネルギーと資源を大量消費せざるを得ず、他面ではこの大量消費によって地球環境の悪化が引き起こされる現象との複雑な因果関係の連鎖が問題化している。すなわち、「経済成長」と「資源・エネルギーの確保」、「地球環境保全」の3者は相互に制約し合うトリレンマの関係にある。人類の持続可能な未来のためには、この関係の克服が重要な課題となっている。この視点から、本科目では、下記の項目について受講者の認識と理解を深め、各自が技術者・当事者として解決策を見出す事を目標とする。その結果、技術者としての視野と実務能力の向上を果たす。 エネルギーと環境問題との関係の理解 現代のエネルギーの需給状況の理解 未来のエネルギーの需給状況の理解 地球環境問題における国際的取り組みの理解 持続可能な発展に向けた取り組みの具体化		<b>成績評価の方法：</b> 総得点120点 = レポート20点 + 期末試験100点 総得点120点に対する得点率(%)で総合評価を行なう <b>達成度評価の基準：</b> 教科書ならびに配布資料等に記載されている内容と同レベルの問題を試験で出題し、6割以上の正答レベルまで達していること。成績評価への重みは均等である エネルギー資源(原子力関係は除く)利用における現状と課題についてほぼ正確に(6割以上)説明できる 地球環境問題における現状と課題についてほぼ正確に(6割以上)説明できる 地球温暖化問題(京都議定書ほか)における現状と課題についてほぼ正確に(6割以上)説明できる 新エネルギーほか地球温暖化対策(原子力関係は除く)の現状と課題についてほぼ正確に(6割以上)説明できる 火力・水力・原子力ほか発電のしくみについてほぼ正確に(6割以上)説明できる 原子力発電の現状と課題についてほぼ正確に(6割以上)説明できる 原子力ほか発電設備の安全に関し、その現状と課題についてほぼ正確に(6割以上)説明できる 現在のエネルギー問題、地球環境問題に関する自分の意見と技術者としての今後の貢献を記述できる	
授業の進め方とアドバイス：受講者は予習と復習を怠らず、新聞等から社会動向の掌握に努め関連する情報収集をおこなう。それを補う形により質疑方式で授業を進める。授業は、教科書に沿っておこない、要点を板書するので、受講者各自が補筆して、学習ノートを充実させ、知識や思考の整理を果たす。本科目で扱う内容は、普遍的な解が無いので、受講者独自で解を模索し、その程度を成果として問う。また、現場見学を予定している。			
教科書および参考書：基礎講座 2010 エネルギーと地球環境 ((財)電力中央研究所 エネルギー教育研究会編著、㈱エネルギーフォーラム発行)を教科書として用いる			
授業の概要と予定：後期		教室外学修	
第 1 回：エネルギーと人類(トリレンマ：経済発展、エネルギー、地球環境)		エネルギー使用の歴史、エネルギーの種類、需要と供給、将来、セキュリティ等について調べまとめる。	
第 2 回：エネルギー消費量(全世界のエネルギー消費の変化)			
第 3 回：未来のエネルギー事情(化石エネルギー資源の枯渇と長期的なエネルギー需給の変化)			
第 4 回：原子力発電に対する現状と諸問題 その1(放射線、原子燃料、核分裂、臨界)		原子力発電の仕組み、歴史、安全、将来等について調べまとめる。	
第 5 回：原子力発電に対する現状と諸問題 その2(放射性廃棄物の処理と処分など)			
第 6 回：原子力発電所および周辺施設の見学 その1			
第 7 回：原子力発電所および周辺施設の見学 その2		原子力発電所および周辺施設見学を踏まえて、「原子力発電に対する現状と諸問題」に関するレポートを作成する。	
第 8 回：原子力発電所および周辺施設の見学 その3			
第 9 回：原子力発電所および周辺施設の見学 その4			
第 10 回：地球環境問題(地球環境問題：地球温暖化、酸性雨、砂漠化など)		地球環境について現象、懸念される事象、人類に対する影響等について考察しまとめる。	
第 11 回：地球環境問題への対応(温暖化対策、再生可能エネルギーなどへの取り組みと課題)その1			
第 12 回：地球環境問題への対応(温暖化対策、再生可能エネルギーなどへの取り組みと課題)その2			
第 13 回：地球環境問題と持続可能な発展への国際的な取り組み(地球環境サミット、気候変動枠組条約など)		地球環境問題を巡る国際的な取り組みとわが国との関わりについて調べ、今後土木技術者としての貢献についてまとめる。	
第 14 回：エネルギー問題に対する土木技術者としての自覚と緩和策・適応策への貢献 その1			
第 15 回：エネルギー問題に対する土木技術者としての自覚と緩和策・適応策への貢献 その2			
期末試験			
第 16 回：フォローアップ(期末試験解説など)			